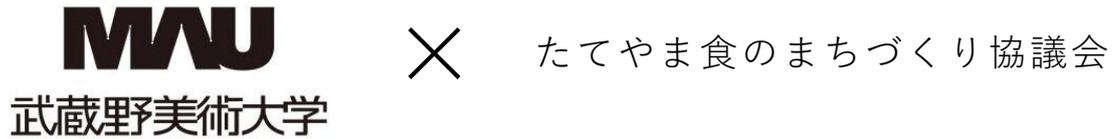


報道関係各位

武蔵野美術大学と、たてやま食のまちづくり協議会が、 千葉県館山市の食による地域活性化をテーマに産官学プロジェクトを実施



武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市/学長：長澤忠徳 以下、本学）と、たてやま食のまちづくり協議会（所在地：千葉県館山市/会長：木村義雄）は、館山市が進める食による地域活性化を共創することで、これからの「たてやま食のまちづくりの活動」を連携して推進します。

産官学プロジェクト概要

千葉県の館山市にはたくさんの農水産物、海と山の自然、南総里見八犬伝に代表される伝統文化などがあります。食を中心にしながら、自然と文化を活用した地域活性や社会問題の解決のために、地域住民、企業、生産者、行政と学生で「食のまち館山」を世界にアピールできるようなアイデアの創出が期待されています。

本プロジェクトでは、本学造形構想学部クリエイティブイノベーション学科（CI 学科）および大学院造形構想研究科造形構想専攻クリエイティブリーダーシップコース（CL コース）の学生が、館山市の地域の人達と実際に共創し、食のまちづくりのためのビジョン、ブランド、プロモーション、サービスや商品の提案などを検討します。

昨年度のプロジェクトの様子・概要

昨年度のプロジェクトの様子・概要は、以下リンク先で公開しています。

[クリエイティブイノベーション学科研究室サイト - たてやま食のまちづくりプロジェクト](#)



【本学学生が実践する社会課題解決】

CI 学科および CL コースは、美術・デザインを学ぶことで身につく力、創造的思考力を持って、社会の中で実践的に学ぶことを目的として、2019 年に開設いたしました。

CI 学科の学生は、入学後 2 年間、本学鷹の台キャンパスで美術・デザインの基礎、フィールドリサーチ、イノベーションに関する歴史的背景を学びます。3 年次からは、市ヶ谷キャンパスで、提携企業・自治体と社会課題解決型プロジェクトを共創していきます。

本プロジェクトを含め、企業や自治体等と連携し、持続可能な未来社会について、様々な分野の専門家と対話しながら、実社会における様々な問題に取り組んでいます。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス事務室

03-5206-5311（電話）／03-5261-3700（FAX）／rcsc_staff@musabi.ac.jp